

2017年（平成29年）3月13日

各 位

本店所在地 東京都千代田区麹町 2 丁目 4 番地

会 社 名 そーせいグループ株式会社

（コード番号 4565 東証マザーズ）

代 表 者 代表執行役社長 CEO ピーター・ベインズ

問い合わせ先 コーポレートコミュニケーション部 伴瀬晴美

電 話 番 号 03-5210-3290（代表）

第一三共と子会社Heptares社、疼痛治療にむけた 新規低分子治療薬に関する研究・開発の提携

当社子会社Heptares社（以下、「Heptares社」）は、本日、第一三共株式会社（東京都中央区、以下、「第一三共」）との間で、疼痛緩和に極めて重要な役割をもつ単一のGタンパク質共役受容体（GPCR）をターゲットとした新薬研究並びにライセンスに関する契約を締結しましたのでお知らせいたします。

1. 業務提携の理由・内容

本提携において、Heptares社は第一三共が指定した単一のGPCRをターゲットとして新規低分子治療薬の探索を担い、第一三共は当該治療薬の開発・製造・販売の権利を取得します。本提携により、Heptares社は契約一時金4百万米ドルと、今後約8百万米ドルの研究支援金を受領いたします。加えて、研究開発・販売に関するマイルストーン及び新薬の純売上高に応じたロイヤリティを受領することになります。

Heptares社CEOであり、当社チーフR&Dオフィサーであるマルコム・ウィアーは次のように述べています。「このたびの新たな提携は、重要な課題とされている疼痛緩和に関する大変刺激的なコラボレーションです。第一三共のニューロサイエンスチームによる疼痛ケア領域における専門性と、当社技術を活用して得られる受容体構造に関する知見とのシナジーにより、全く新しい差別化された低分子治療薬が生み出され、開発段階へと進めることができると確信しています。」

2. 業務提携の相手先の概要

(1) 名称	第一三共株式会社
(2) 所在地	東京都中央区日本橋本町3-5-1 第一三共本社ビルA館/B館
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長兼CEO 中山 讓治
(4) 事業内容	医療用医薬品の研究開発、製造、販売等
(5) 資本金	500億円

(6) 設立年月日	2005年9月28日		
(7) 大株主及び持株比率	1. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口） 7.36% 2. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口） 6.53% 3. 日本生命保険相互会社 5.05% 4. みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社 2.03% 5. 株式会社三井住友銀行 1.61% 6. 第一三共グループ従業員持株会 1.50% 7. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口7） 1.29% 8. STATE STREET BANK WEST CLIENT-TREATY 505234 1.25% 9. THE BANK OF NEW YORK MELLON SA/NV 10 1.25% 10. 株式会社みずほ銀行 1.21%		
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	特になし	
	人的関係	特になし	
	取引関係	特になし	
	関連当事者への該当状況	特になし	
(9) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態			
決算期	平成26年3期	平成27年3期	平成28年3期
連結純資産	1,007,527百万円	1,307,041百万円	1,233,521百万円
連結総資産	1,854,037百万円	1,982,286百万円	1,900,522百万円
1株当たり連結純資産	1,392.03円	1,852.28円	1,801.90円
連結売上高	899,126百万円	919,372百万円	986,446百万円
連結営業利益	112,922百万円	74,422百万円	130,412百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	60,943百万円	322,119百万円	82,282百万円
1株当たり連結当期純利益	86.57円	457.56円	119.37円
1株当たり配当金	60.00円	60.00円	70.00円

3. 今後の見通し

本提携による当期業績予測への影響はありません。

4. 日程

子会社取締役会決議：3月13日

締結日：3月13日

<ご参考>

Heptares 社について

Heptares社は、広範囲のヒト疾患に関連する375個の受容体のスーパーファミリーであるGタンパ

ク質共役受容体（GPCR）を標的とした創薬を行う医薬品開発企業です。同社独自の構造ベースドラッグデザイン技術を利用することにより、臨床的な有用性は証明されているものの、これまで創薬が困難であったGPCRを標的とした医薬品の創出が可能となります。このアプローチを使用し、同社はアルツハイマー病、統合失調症、がん免疫療法、片頭痛、依存症、代謝疾患等の治療法を革新する可能性を有する、画期的なパイプラインを構築しています。

Heptares社は新規開発候補品や技術提供について、既にAllergan社、AstraZeneca社、Kymab社、MedImmune社、MorphoSys社、Pfizer社、Teva社等をはじめとする大手製薬会社やバイオテクノロジー企業と提携しています。

Heptares社はそせいグループの100%子会社です。詳細については、www.heptares.comとwww.osei.comをご覧ください。

そせいグループ株式会社について

そせいグループはグローバルに医薬品開発に取り組む日本発のバイオ医薬品企業です。そせいグループのビジネスモデルの根幹にあるのは、新規・差別化可能な開発品および基盤技術の探索、それらの非臨床・臨床開発の支援、開発・販売提携等を通じて世界中の患者さんに新たな医薬品を届けることです。

詳細については、www.osei.com をご覧ください。

第一三共株式会社について

第一三共グループは、「革新的な医薬品を継続的に創出し、多様な医療ニーズに応える医薬品を提供することで、世界中の人々の健康で豊かな生活に貢献する」ことを企業理念に掲げております。

世界中で多くの患者さんに服用いただいた高血圧症、脂質異常症、感染症領域の薬剤に続き、血栓症領域でも新薬を上市し、次代のフランチャイズとして育成しております。

さらには研究の重点標的疾患領域を「がん」と定め、次世代領域を「疼痛、中枢神経系疾患、心不全・腎障害、希少疾患」とし、バイオ医薬品を含めた新薬創出に向けて取り組みを強化しております。

また、第一三共グループは、患者さん、医療関係者等の皆さまの多様なニーズに対応するべく、イノベティブ医薬品（新薬）に加え、ジェネリック医薬品、ワクチン、OTC医薬品の事業を展開しております。

詳細については、www.daiichisankyo.co.jp をご覧ください。